

**今回のオンライン学習の実施について、問題点や課題を自由に記載してください。**

- 1 オンライン学習とオンライン授業は、たて分けて考えてください。構内でタブレット学習(オンライン学習)は進んでいます。オンライン授業は、当然ながらコロナ休業になったときの緊急的な対応と考えています。
- 2 計画的な準備のもと段階的に展開するのが望ましい。
- 3 通信環境を整えることが必要です。オンライン学習の指導方法は、教員の仕事ですが、通信環境の整備は、教員の仕事ではないと思います。通信環境さえ整っていたら、今回、大阪市のオンライン学習は、大きく進むチャンスだったと思います。残念です。
- 4 貸し出しルーターや、充電ケーブルの不足。通信速度や回線の容量不足。
- 5 オンライン学習の割り当て時間が、少なすぎる。十分なオンライン学習を実施することができない。通信環境等のインフラの整備が必要である。
- 6 環境を整えば、これからの学習に必要であると考え。学校としてはオンライン学習だけで学びの保障ができるとは考えられない。
- 7 授業数にカウントできないのに、教員に無理を言えない。大阪市全部の小中学校が一斉に出来ない。
- 8 今後オンライン学習の指示があっても実施するのは難しいです。学校の通信環境に問題があり、スムーズに双方向通信ができない。(双方の顔を表示したらフリーズをおこす)(授業時間にカウントされない)また、オンライン用の授業研究がおいつかず教員の負担が重い。市長・教育委員会が現場の状況を把握して、実施可能な取り組みを指示してほしい。
- 9 オンライン学習は、長時間には適してきないので、時間を制限して行うべきである。
- 10 学校現場へ十分な説明、研修を行わず、突然、次週よりオンライン学習を実施せよとの通知がきました。しかも、ICT機器の設置も含めて、すべて学校現場に丸投げで、専門のSEなどの派遣もありませんでした。どこの役所や会社でも、新しいシステム導入時には、専門の方から説明や機器の設定をしていただいていたからのスタートだと思います。学校の教職員は、ICT機器のSEやサービスマンではありません。今後、こんなことが起きないように、市会及び教育総合会議、教育委員会会議などでしっかりすべき検証と改善をよろしくお願いします。
- 11 オンラインのアクセス時間が極めて少ないため、授業以前に解決してほしいハードの問題がある。2部登校は、子どもの動きの把握が、職員の人数が少なく大変です。低学年は看護に、高学年は休んでしまい、学習が遅れた。結局授業にならなかった。また、生活リズムが乱れ大変でした。政治的なパフォーマンスにしか感じられなかった。
- 12 オンライン学習をせずに通常授業を実施する学校もあり対応がバラバラであった。
- 13 とにかく双方向通信のcapを増やすことです。全市で一斉につながるぐらいでないと、ただ各自のオンラインだけでは学習の格差が拡大するばかりだと思います。
- 14 本校では、午前中は学校での学習としました。オンラインは時期尚早で児童の生活リズムや保護者の負担は避けました。教職員、保護者からの理解を得て実践しました。今後についても同様、児童、保護者、教職員が理解できる実践を行っていきます。
- 15 教育の分野に、実態の分からない市長が、なぜ直接口出ししてくるのか疑問である。

16 そもそも小学校でオンライン学習をしようとすることに無理がある。学校でじっと座っていることも難しい子が、端末の前で座り続けることはできない。大学生の娘がオンライン授業をうけていたが、まあ何と味気のないことか。小学校では教科書の内容を教えればいいという問題ではない。共働きの家庭が多く、家で子どもの様子を見きれず、操作の支援、フォローができない。教室でオンライン授業の試行をしたときも、何人もの子が機器の不具合や操作上のミスで担任の支援をあおいでいた。担任以外に2人の教員も支援に入ったがてんでこま이었다。家で誰もいない時、誰がフォローするのか。家庭間の格差が大きく出るところである。できないお家、もしくは家で子どもが勉強をしないお家は、学校での預かりを希望される。感染が心配なお家は、子どもができなくても自宅で待機されます。預かりとオンラインの両立、1人の担任がするには負担が大き過ぎる。小学生は家庭環境、親の意識に大きく左右されるところが大きいです。

17 オンライン学習といっても、生放送で双方向に行うもの、本アンケートのような形式で、それぞれの好きな時間に行うもの、その混合型、などなど、様々で、どういったことを行わせるのかをきちんと整理すべき。「生放送の双方向」をするには少なくとも学校の通信環境は学年2クラス程度の学校でも弱すぎる。それらの強化がまず必要。市教委からは、全市共通のモデル授業のフレームを何パターンか具体的につくって、それを全校が実施できるようなサポートをしていただけるとありがたい。

18 前提として、充電器の整備等も含め通信環境を整えることが必須。その上で、教員のスキルアップも必要。オンライン学習は万能ではない。文科省の言う「主体的・対話的で深い学び」という観点からは、現状では、対面授業に比べて半分以下の成果しか得られない。非常時に備えておくことは必要だが、環境整備が整っているからということだけでオンライン学習に移行するには失うものが大き過ぎる。

19 双方向の接続は、時間が限られ、全くの形だけのものであった。本校は、早め早めの対応を教職員一丸となって進めたが、徒労感のみが残った。9月のチャレンジテストの教育委員会の対応にも、不安が残り、他市との差が出て、低位であれば、それはそれで問題であろう。

20 一斉オンラインをしていたら何の教育効果もなかったと思います。そう言った意味でのアンケート回答をしました。(特に最終質問)もとより、松井市長の求めるオンライン形式は無理であることは現場はみんなわかっていました。もし強行しても通信環境がもたないので有効なやり方とは何か?昨年度と同じ轍は踏まないと本校は以下の形をとりました。本校は緊急事態宣言前に保護者アンケートをとり①9割の家庭が朝1時間目から教育委員会が認める「学校預かり」で登校希望。それら生徒には45分5限の授業形式の教育活動②1割の給食より登校(市教委モデル)および全日家庭学習希望(コロナ登校回避)者にはオンライン授業配信を実施。前日プリント配布システムなど学びの保障の取り組みを確かなものにする。(実技教科以外)この形式のオンライン授業システムは現在も不登校生やコロナ出席停止者に対して実施。学校全体で通年実施を決めている。また、もし、次回全校臨時休校になっても同様の形で対応する。(全員が休みになってもこの応用形で対応する)今回は校長裁量を認めていただきました。このことについては今後も各校校長が絵を描きやすくするよう意見提言をきちりできる環境を作っていただきたい。意見も言えない今の息の詰まるような組織では教育は死にます。よろしくお願ひします。

21	通信環境の充実や、オンライン端末を活用した多様な指導方法が広く教員に周知されていることなど、実施の前提となる条件整備が不足している。
22	市長と教育委員会の情報交換が全くされていない事実が理解できました。市長にきっちりと説明できる勇気ある教育委員会職員・教育長を含め存在しないようですね。誰が現場の声を市長に示していただけるのか、これからも思い付き発言の提言には不安を感じます。
23	WI-FI環境が十分でない家庭がある。
24	学校への連絡の前に報道発表があるのは混乱を招く。今回のオンライン授業だけではなくて多くの場面で見受けられる。学校関係者よりも保護者の方が先に知っているということがあり学校不信に繋がりがりその後の学校運営に大きく影響するので今後はやめてほしい。
25	「主体的、対話的で深い学び」をどのように進めるかについて、オンラインでの学習指導についての委員会の方向性を示すべき。各校や個人で考えるには、課題が大きすぎる。その事がないと、オンライン学習が一問一答になるなど、今必要とされる学力の向上は困難。全国学力学習状況調査結果向上も困難。アンケート、ありがとうございます 🐼
26	性急で準備不足は否めないが、他の自治体でも導入時には同様の混乱がある事を知っていたので、気持ちに余裕があり、混乱にはいたらず、ICT教育はかなり進んだが、現場によっては大変だったと思う。
27	今回のオンライン学習の実施だけでなく3時間めからの授業実施についても、保護者の負担や感染予防に対しても、対応が納得できない。本校では朝からの児童預りを全面に押し出し保護者に連絡をし、ほぼ全員の児童が1時間めから登校した。多数の保護者から感謝の言葉をいただいた。
28	接続環境が整っていない家庭への対応は、できています。しかし、パソコンが上手に扱えない子どもに、保護者等が付き添っていただけない家庭もあるようで、学級内の全員が参加できていません。参加できない子どもがいなくなる事ができたらいいと思います。
29	通信が不安定過ぎます。
30	双方向の発言や映像がオープンになっているようなイメージが先行していたが、実際にはサーバーの能力などで、学校の想定するカリキュラムで行えたわけではない。(日時指定があり、そのとき以外では午後や朝始業時に行うしかなかった)目指すところは理解できるし、今後必要と感じているが、早急すぎて、十分なハード面での準備がなされないままだったので、混乱を招いたのではないか。一般校では、今までタブレットが40台のみでICT教育に取り組んでいる。本校は、指定校なので240台あり、従前からこうしたやり方に慣れているが、みんなそういうわけではない。今まで教育に人、もの、お金について十分にかけてこなかったつけが非常事態になって露呈したと感じている。
31	教育委員会は4ブロック化の利点を発揮して、報道発表で指示がブレることないように、学校の状況にそくした適切な指示を示してほしい。
32	通信環境の整備が進めば実施できるので、この機会に進めてほしい。
33	機材の配布さえ完了すれば、即オンライン学習が可能だという誤解がある。(市、保護者、多くのマスコミ)重点校とそうでない学校との取組の格差がきちんと報道されていなかった。市教委と十分な検討がされないままに報道が先行されていること(今回に限らず)。オンライン学習実施に必要な十分な人(ICT支援員等)の保証がされていない。ICT教育については、今後当然進めていくものであるが、各学校の実態に合わせて進めていくための支援は現在十分ではない。

34 オンラインができれば学校現場に教員はいらないとの方向性に向く世相を危惧します。今、アメリカで行われているチャータースクールでのオンラインの実態など富める者はますます豊かになり、貧困層はますます階層から抜け出すことが困難となっていくと思います。それよりも子どもたちには日本語の基礎をしっかり学ばせてあげたいものです。日本では1000年以上も前の古文を中高生が読解できるという稀有な国情です。そんな国は世界中探しても日本くらいでしょう。そんな漢字とかな文字を持つハイブリッド言語である日本語を大切にしていくことこそが未来にわたって世界で活躍できる人材育成に繋がるものと信じます。

35 本校では、ICT担当教員が一年生以外のクラスに入って教員と児童に向けてレクチャーしたことでオンライン授業を2回行いことができました。もし、このように知識があっても中心となって動く教員がいなかったら本校ではオンライン授業はできなかったと考えています。現場を無視した決定による混乱は児童にも大きな影響を与えると危惧しています。

36 子ども達にメディアリテラシーの指導もせず、オンライン授業を導入するリスクを理解していない。橋本市長時代から続くポピュリズム政治家によるパフォーマンス政策に意見する教育委員会の対応がなく、行政委員会としての独立性が失われ、市長のご機嫌伺いばかりの組織に墮落している。大阪市の教育はポピュリズム政治家の独裁政権下で、益々、イビツなものになっている。

37 教育委員会の担当部署・担当者は本当に大変だと思います。市長と市会と保護者と学校現場の板挟みになり、全てが整わない中でなんとか落としどころを探りながらではないでしょうか。ある大学の先生と話す機会があり、大阪市（全国的に）も予想していたより2年は早く一人一台学習者用端末の整備が進み、それ以外のインフラも含み何もかもがこれからになる大がかりなことで、人・物・金・時間を教育振興基本計画に位置づけし直さないと、学校現場も後ろ向き姿勢のまま結果として児童・生徒が何も享受できないままになることを懸念していました。学校現場も意識改革が必要で、これからの子どもたちが生きていく第4次産業革命（デジタル革新 AI IoT）、Society 5.0の時代に合う教育を進めないと間に合わないという危機感があるのでは。平成28年4月19日、安倍総理は、総理大臣官邸で第26回産業競争力会議を開催しました。<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg13574.html> この状況下で学校現場を動かすのに、管理職の力が必要です。校長・教頭の2枚看板では一杯いっぱいです。大阪市の小中学校全校に副校長を配置してください。現場の管理職が使命を背負って進められるようよろしくお願いいたします。

38 相互方向によるオンライン学習が確実に実施できる状況(環境)であれば回数をこなせばいずれ効果を検証できるレベルには到達できると思いますが、現状では不可能です。また、義務教育学齢の子ども達にとってオンライン学習はハードルが高過ぎると感じる。義務教育は絵に描いた餅のように発信者の自己満足に近い配慮に欠けた机上の空論では子ども達の不利益にしか繋がらないのではないのでしょうか。

39 オンラインでの授業でどれほどの小学生が、どの程度学習効果を得られるのか、実際にオンライン授業を行った学校でのオンラインと対面授業との効果の違い等、明らかにしていくべきだと思います。

40	<p>小学校低学年では、効果のあるオンライン授業は不可能である。それ以上の学年でも、例えICT機器や通信環境が整っても、オンライン授業では、パソコン画面を通して40人の児童の状況を把握するのは難しく、効果のある授業は期待できない。(10人ぐらいまでなら、実りある授業が可能かもしれませんが)</p>
41	<p>オンライン学習は自学とおなじでやる生徒はやるがしない生徒はしない二時間授業日に6時間授業をしていた学校がある中で9月のチャレンジテストの結果で学校の評価範囲を決めるのはおかしいし不公平教育委員の判断は辞任に値するレベルの判断</p>
42	<p>一人1台端末は、学校の授業での活用を定着させるものと認識している。有事の際に双方向通信として活用するには、すべての家庭への通信環境の整備ができた段階で実施できるものとする。そのためにも、教育現場の状況を把握していただきたいと切に願います。</p>
43	<p>オンライン学習を実施する目的は何か分からない。授業時数の確保？前々から文科省はオンライン授業は時数にカウントしないと言っていたにもかかわらず強行した意図が分からない。学習指導要領総則には1単位時間を50分とすると明記されているのに、2週間に20分程度で何を指導できるのか？以前に接続テストを行った際に全校生徒が一斉に接続することは困難さがあり、また接続の不安定さがあることを委員会に伝えた。ICTの担当が総務部、指導部、センターと分散していることの不便さを解消してほしい。</p>
44	<p>オンライン学習についてどれだけ認識できていたか。市長の発言が大いに政治利用されていた。教育の独自性について大変疑問に感じた。教育委員会は市長が言えなんでもそれに従うことしかないのか。教育委員会の方々はよく平素より『粛々とする』という発言され、指示、或いは通知して来るが、各現場の実情をどれだけ理解し、教員の資質の実情もわかっておられるか大変残念に思う。また、今回の校長の意見書に関わっての処分についても、また通知に従わず児童の登校を変えた学校の処分についても大変遺憾である。通知通りにした学校が、いわゆる損をした形のみである。ということは今後、委員会からの通知について学校独自の判断でもよいだという思いにかられている。オンライン学習こそ金持ち優遇。きちんと子ども達に環境を与えない限り、格差がつくのは当然だと考える。文科省は『文房具を扱うがごとく』と言っておられるので、きちんとした環境整備とともに、日進月歩の中で日々ICT機器は進んでいるのでその予算、人材確保・育成に大阪市としてどれだけ積極的に関わって行くのか不安になる。大阪市だけでもオンライン学習においてもICT教育においても格差のある現状である。もし本気で大阪市でオンライン学習、ICT教育を取り組みたい、または必要性があるならば、いち早く現場の声を聞くだけでなく、きちんと現場に赴くべきではないか？アンケートだけで実情を知ることすら私には姑息であると思われる。『教育をなめるな！』『人と人との出会いふれあいを軽んじるな！』とあらためて伝えたい。</p>
45	<p>小学生にはオンライン学習の効果は極めて限定的であることを十分に認識した上で、実態に則したより効果的な実施となるよう努めてまいります。</p>

46	<p>現場及び現状を知らない市長の、現場を無視した「パフォーマンス」に問題がある。学校現場は、いつもそれに振り回されている。オンライン授業実施に向けては、機器だけ与えればOKというわけにはいかないということは教育委員会はわかっているはず。ただ市長の先走った発言があるから、NOとは言えない。そういう意味で市教委事務局もかわいそう。不十分な形でのオンライン学習を謳ったことに対し、私は校長として、生徒・保護者、市民を騙している、詐欺に近いことをしている、と感覚を持った。大変申し訳なく感じている。まともにオンライン学習ができない中での今回の対応で、大阪市立中学校は、大阪府下の中学校に学習面で大きく差をつけられたとも感じている。実際やったことは、第1回目の緊急事態宣言時とたいして変わらず、自宅でプリント学習、動画学習をさせ、登校させてでチェックするだけ。感染防止の観点から言えば給食の意味もあるのかないのか？給食より授業の方がよほど感染リスクは低いと思っているのは私だけか？第1回目学校休業時と今回の対応時は、生徒のコロナに対する行動が全く異なっていた。部活も無いため多くの生徒は外で遊び回っていた。そのため本校では生活指導上の課題もあった。すべてにおいて今回の対応は失敗と言えるのではないだろうか？</p>
47	<p>教員と児童のスキル不足 円滑な双方向通信が成立していない。あの時期、大阪府の市町村はどことも通常の対面授業をしていた。これこそ「2重行政」の非効率ではないか！市長は大阪市の児童の学習権を奪ったことを猛省し記者会見等で子どもたちに謝罪すべきである。どや顔で「やってる感」アピールして学校現場を混乱させたことも謝罪すべきである！</p>
48	<p>報道発表が出てから、教職員はスピード感を持って対応してくれたと思いますが、保護者から先に問い合わせがあったり、現場は非常に混乱しました。また、オンライン学習といいますが、どうしても顔の映るオンライン双方向の形式が思い浮かばれると思いますが、回線のバックボーンからは全市的には不可能だと思いました。可能な内容としては、課題の提出・回収・評価、そして教材や回答の共有に留まるかと感じます。一人一台の端末を使うようになり、評価における思考・判断・表現の観点を見とるツールとしては、とても良いものだと思います。しかし、マシン性能や搭載メモリ容量、そしてこの個人端末が持ち上がりで数年間は使用するという事なので、この先、使用に耐えうるのか心配です。</p>
49	<p>現状では、指導に無理がある。</p>
50	<p>・完璧を求めず、まずは、なにか実施することに意味があると思います。・まずは、ネットの環境整備ではないでしょうか。・教員の基本的技量を上げる必要がある。</p>
51	<p>そもそも同時に多くの学校・学級が双方向コミュニケーションをとれるだけのサーバーの能力が無い！音声・画像を含めた双方向通信はほとんどFREEZEして止まる。そういう現状を理解しておられるのかが甚だ疑問に感じた。</p>
52	<p>1.特に学校は保護者がついていないと、通信トラブルだけでなく、子ども自身の学習環境に不安がある。また、その不安払拭のために仕事を休まないといけない。学校だけに頼ることができない。これは保護者の意見である。2.少しでも学校が時間を考えて、自由な時間に使える状況を作ってもらいたい。今回は指定された日時（各区ごと）だけしか使えなかった。</p>

53 オンライン学習では、必要なときにネットワーク接続が円滑に行われ、端末がストレスなく活用できる状態にあって、初めて、初期段階の活用が可能となると思います。現行のネットワークシステムでは、本市の小中学校の児童生徒が一斉接続すると回線状況に無理があることと、パブリッククラウドを活用する際に、同時接続となった場合、アプリケーション業社が16万の児童生徒の容量を受け入れることが可能であるのかが疑問に思っております。また、児童の実態に応じたアプリケーションテキスト等の活用ができる運用形態を図らないと個別最適化した学びには、繋がりにくいと感じます。加えてまして、小学校の児童は、個別最適化した学びの実現を図るためには、発達段階に応じた支援をする必要があります。特に、低学年の児童に学校生活における過ごし方や学習の基礎の定着を図る必要があるために、優先順位でいいますとオンライン学習は後方の順位となります。特に、本校の実態から考えると、対面できめ細かい支援を要する児童の割合と基本的な生活習慣が身につけていない児童の割合が多いと、身につける力の優先順位は、優先的なものにはならないと感じます。学校の実態に応じた運用の仕方が必要かと思えます。

54 文部科学省が提案するオンライン授業とは、通常授業の代替えという発想ではないと思う。対面で先生が授業するなかでもオンラインによる遠隔授業は推奨すべきであるが、対面でないオンライン授業と対面授業を同等に考えることは、現状の公教育の否定ではないかと思う。通信テストに関しては昨年度に実施しており、今年度また実施すべきものではないと思っている。そういった意味で、テストをリモート授業というのは竜頭蛇尾もいいところ。

55 本校では昨年まで「ICT拠点校」で、ハード面での混乱は少なかったが、施策が唐突で「思い付き」感が拭えない。周到的な準備をお願いしたい。

56 現場実態の認識不足に尽きると思えます。現場を支援する基本的役割が認識されていないと思わざるを得ません。

57 通信環境の整備が進まない中での見切り発車は、児童、保護者、教員の全てにおいて混乱を産むだけのものとなっている。また、事務局の人間も報道で初めて知ることが多いとのことなので、行政手続きとしてもいかなものかと考えている。児童、市民にとって有益なものになる施策となるよう、十分なシュミレーションのもと実施すべきである。事務局には、能力のある人間を多数抱えているはずなので、そのような能力の固まりを有効活用して施策を立案すべきである。

58 府と市で対応が違ったために、3年チャレンジテストに対する影響が懸念される。

59 家庭で子どもをみることができない場合など登校してもよいということを拡大解釈し、通常の授業を実施した学校がある。真面目にオンライン学習をした学校がなぜ通常授業をしないのかと地域・保護者から苦情があった。市長の発言、市教委の指示、学校(校長)の対応がばらばらで混乱を招いている。緊急事態での学校への指示は現場が混乱を招くことがないように明確でなければならない。(8月の市長の記者会見でのPCR検査を受けて修学旅行を実施も大きな混乱を招いている。)

60 当初接続可能時間の設定が給食に間に合わない時間帯だった。その後若干改善されたが、選択制で遠方から登校する生徒はそれでもかなり負担。とにかく時間設定を現場感覚を無視してやったと言わざるを得ない。持ち帰りルールを無視してまで、一人一台端末を持ち帰らせることにこだわった印象(補償、充電器、モバイルWi-Fiの数の不確定、不登校生徒への使用法伝授等の課題が山積みだった。よって原則、昨年接続テストで使用した自宅の端末を利用させた)。

61 すべての学校で同時時間帯で実施出来る通信環境の整備が必要です。また、低学力の子どもたちの学力向上には、対面授業と少人数授業が絶対的に大切であると考えます。中学校の35人学級の実現に向けてご尽力をお願い申し上げます。

62 学校現場の状況を全く理解せずに市民へのパフォーマンスだけで、思い付きの提案をする松井市長と、市長に何の意見具申もできず、本来、児童のために施策を行わなければならない教育委員会が行政委員会としての独立性を失い、市長への忖度ばかりで失政を繰り返している状況である。今回の件でいえば、オンラインの導入に際しては、児童に正しいネットの利用法を徹底して指導する必要があるにもかかわらず、メディアリテラシー教育を全く行わず、ICT教育としては非常に危険な状況を市長と教育委員会が行ったといえる。

63 急な指示により現場は混乱した。オンライン学習による学校の受け止めと、テレビや新聞を見ている保護者の受け止めの差が大きく、保護者が学校に対する不満を抱いた。モデル校での実践の様子がテレビや新聞では大きく取り上げられ、多くの保護者は自校でもおなじようなことをしてもらえるのかと思っておられた。あてがわれた通信時間が非常に短時間であったことは保護者には伝わっていない。また、年度が変わり一人一台端末を持ち帰らせる準備を整えている最中の今回の指示であったため、準備が整っていなかった。小学生に教具として使わせるには、端末を入れるインナーケースや名札など、最低限度の環境を整える必要がある。その整備は各校に任されていたため、今回の持ち帰りには間に合わなかった。本校も取り急ぎ端末と電源だけを持ち帰らせたが、保護者から道中を安全に持ち帰ることに課題があるとのことご意見をいただいた。ケースや名札等を手配を急がせ、整い順に配布できるようにした。また、家庭に持ち帰っても、兄弟姉妹が一度に学校に繋ぐと、家の中でハウリングや複数の音声が聞こえることで、集中することができないとの意見も多く、ヘッドセットを一人一台ずつ用意した経緯もある。一人一台端末の整備とは、端末だけの配布だけでなく、付随する必要ない物(ケース、マウス、名札、ヘッドホン)なども揃えて配布すべきだと考える。また、破損の場合、保険がきくのかどうかの取扱が明確に示されておらず、弁償というリスクがつくのなら、持ち帰りを希望しないと申し出た保護者もある。これでは教育の機会均等を保障することができない。また、保護者のオンラインについての受け止めまちまちで、感染症に対する不安や自宅待機がかかったら家庭から、学習保障の手段として、オンラインでの授業の配信を、当然のことのように申し出られた。これは、報道されたオンラインについての説明が具体的ではなかったことに起因すると考える。また、近隣校との扱いの違いは、保護者の信頼をゆるがす原因の一つにもなった。感染症対策を講じながらも、児童が安全に過ごせるよう環境を整えたり、授業を行ったりしている教職員には、一般社会で実施を言われているところのテレワークや時差出勤など、安全を守る手段を十分にとることができない状況だったことをご理解いただきたい。また、自宅待機や体調不良などで出勤できない教職員が複数いると、現場にいるものがその分を被りながら、子どもに不利益がこうむらないように努力していることもご理解いただきたい。子どもには子どもの生活リズムがあり、それを崩されることはしんどい。一度崩れた生活リズムを戻すのは、非常に長い時間がかかる。それらを考えた上での対応を望む。組織としての指示をテレビで知っているのかどうか。緊急事態とはいえ各現場が混乱しないような指示を望みます。

64	<p>①目的が明示されずにおりてくる指示→目的が「人流抑制」なら休校にすべき。「給食食べさせたい（＝登校させる）」なら授業もすべき。「学校での滞在時間短縮」なら課外活動である部活動は中止にすべき。何を目的にするかが曖昧なので指示もすべて整合性がなかった。なぜこの指示かの目的を明確に発信することが大切だと思います。②こどもファーストではない判断→そもそも全市が集中アクセスすれば、オンライン学習が成り立たないことはスタートする前から誰の目にも明らかでした。学習が成立しないことがわかっていてオンライン学習する！と判断したことは、こども視点ではないと思います。③指示系統を一本化すべき→小学校・中学校でも微妙に指示のニュアンスが違った（小中一貫校なので感じるのですが）。また、校長会ルートや村の会ルートでも、指示やその狙いが発信されてくる状況だった。指示は主体者である教育委員会に一本化することで混乱は防げるのではないかと思います。よろしくお願いいたします。</p>
65	<p>今回は、通信できる時間帯が決められていた。再度オンライン学習を行う場合には、全市一斉に実施することがシステム上で可能なのかが気になる。そもそも児童の教育は、対面が基本になると思うので、そのためにこれまで感染対策を危機意識を持って行っている。オンライン学習は、あくまでも最終手段として判断してほしい。</p>
66	<p>大阪府は普通に授業があったのに大阪市だけオンラインというのは、拙速だと思う。</p>
67	<p>小学1、2年生には子どもの力だけでオンライン学習は無理です。保護者はほとんどが働いているので、協力も不可能。3年生でも難しい。5、6年生だったらなんとかできるのですが、支援の必要な子どもたちは、一人では難しい。小学生にはかなりハードルが高いです。急にメッセージが出てきた時の対処ややり直す時の仕方など、急な対応が小学生だけでは難しいです。しかし、子どもは覚えるのが早く、NHKの動画を見ることなどはすぐにできるようになりました。学校にしながらオンラインの練習をして少しずつできるようになってきました。 マイナスに考えず、今回の取組を通してわかったことを今後活かしていきたいです。いろいろなところで、いろいろな方が準備をしてくださいましたことに感謝しております。</p>
68	<p>オンライン学習は、有効な面も多いが、ICT支援員の配置や講師配置、講堂のWi-Fi設置等課題解決が必要。</p>
69	<p>研修不足</p>
70	<p>一番に通信環境の不備が、挙げられます。いまだに、改善されていません。</p>
71	<p>校区により家庭内での通信環境に差があった。本校区では、配布のルーターが不足しなかったため、よりよい状況で双方向確認が実施できた。オンライン学習実施にあたって、全市的には、通信環境の整備が必須条件となる。その構築（貸し出しモデム等）が急がれる。</p>
72	<p>市内で一斉にするとアクセス集中によりつながらなくなるので各区で使用時間帯を割り振られましたが、指定時間帯と学校の時間帯が噛み合わず実施するのにかなりの調整を強いられた。また接続できない家庭からの問い合わせがあまりにも多く、対応に追われ学校の業務が止まることも多かった。対応する職員が足りない。対応しているとオンライン授業が終了していることも多々あった、</p>

73	<p>大急ぎで子供達への指導にあたったが校内では回線が混み合っており繋がらず指導すらできない状態で実施しなければならなかった。低学年の児童はオンラインどころではなく端末の操作すらまだできない状況での実施を求められた。脆弱な回線状況は委員会も把握しているのに、なぜ現場にあのような指示が平気で出されたのか理解できない。また、低学年の子が家庭で実施するには今の段階では保護者が仕事を休まなければ実施できない。学校で自分でできるようにしてからでなければ、低学年の全ての児童がオンラインでの学習は不可能である。もっと児童の発達段階を考慮した指示を出して欲しかった。</p>
74	<p>あらゆる面で、準備不足であり現場の状況や地域性を考えていない。</p>
75	<p>まずは、双方向通信ができることとオンライン学習ができることは、ちがうことをしっかりと捉える必要がある。そして、そもそも双方向通信ができる環境が整っていないことを解決することが先決である。Wi-Fiがない家庭へは、学校がルーターを貸し出すというようなやり方ではなく、GIGAスクール構想という国レベルでの取り組みであるわけだから、インフラ整備として義務教育段階の子どもがいるすべての家庭で無料で利用できるようにすべきである。 オンライン学習とはそもそもどのようなものであるのか、全く不明であり、小学1年生にとってオンラインでどのように授業ができるのか、共有されたものがない。教員が理解して使えるコンテンツなどが全くない中でいきなりオンライン授業と言われても、授業のイメージさえ持てず、恒常的にオンラインの授業をすることはかなり難しいし、それぞれの学校が勝手に行うことは避けるべきである。 しかし、全面休校措置となった場合のコミュニケーションツールとしては有効ではあると思うので、まずは双方向通信がストレスなく簡単にできる環境の整備を早急に行ってほしい。 オンライン授業については、発達段階に応じて研究を行い、慎重に進めなければ、かえって子どもの健全な成長を阻害しかねないことが懸念される。オンライン学習を技術革新による未来の理想の学習のように捉えるのは危険であるとする。これも国レベルの話であると思うので、きちりと方向性を示してほしい。学習動画を見ただけで、オンライン授業をしたと考えている自治体があったり、バラバラになっているのではないだろうか。コロナ禍でGIGAスクール構想が前倒しになり、パソコン配備がされただけであり、なし崩し的に訳の分からないまま、施策が進められることがないよう、現場の意見を聞きながら丁寧に進めていただきたいと思う。</p>
76	<p>ネット回線の課題がこれまでから指摘されていたにもかかわらず、まったく改善されていません。台風などの非常時にホームページが簡易版になったり、メールの不具合が生じたり同じことを繰り返しています。できないならできないで、学校現場にそのしわ寄せだけを押し付けるのはやめてほしいです。ブロック化してるのだから、ブロックごとに回線契約してはどうでしょうか。全市というのは不可能だと思います。</p>
77	<p>学校現場の状況を考えずに、マスコミを通して既成事実を作り、強行するやり方には、憤りしかありません。市教委も、間に入ってご苦労されたことは、気の毒に思います。そもそも、家庭に貸し出すパソコンは、1年生の分が足りません。ルーターも、足りません。この期間を乗り越えられたのは、素晴らしい教職員の献身的な働きのおかげです。</p>
78	<p>緊急時等や登校できない状況下の生徒と繋がると言う点において良かったと思う。学習効果と言われるとまだそこまでは難しく、今後、改善していく必要はある。オンライン学習は若手教員が率先して取り組んでくれ、ベテラン教員も取り組んでくれた。今回で各家庭と繋げるICT活用が一気に進んだと感じている。</p>

79	<p>GIGA端末が導入された時点で授業支援ソフトが導入されていないことやGoogleクラスやMicrosoftチームズで同等のことができますと1行文書に記載があったのみで具体的な方法を見つけるのは各校に任されていた。各校が背負いきれる内容ではない。その時点で具体的な活用方法を示してくれていれば、多くの学校がそこへ向かって取り組んだと思う。現行の学力観に見合った活用方法ができたのではないかと思う。私も校長の立場で予想される混乱については、委員会へ再三提言したつもりであるが、なにも改善されなかったのが残念であった。過ぎたことを言っても仕方がないので、今後は、もう少し活用を頑張っている学校の意見を聞いて、今後の施策を考えていってほしい。現場で活用をしたことのない方たちが考えても具体的な現場の困り感は拾い上げてもらえるように思えないので、今後の改善を期待したいと思う。</p>
80	<p>オンライン学習ではどうしても対面学習ほどの効果はあがらない。普段からオンライン学習を実施していないため思うような内容や効果があげられない。</p>
81	<p>通信環境が脆弱過ぎます。円滑な授業をすすめるためには、必須条件です。動画を含めた通信がストレス無く行われることが重要です。</p>
82	<p>家庭の協力があるという前提で考えられていることなので、実態とはかけ離れた指示であったと考える。トップダウンも必要だと思うが、現場や現場のことをわかっている教育委員会指導部とも、事前に協議をしてほしい。マスク受けを狙った、思いつきの施策は、学校現場の混乱と学校不信を招くだけである。大阪市の教員は疲弊している。大阪市の教員志望者が減り、ますます教員の質の低下が進むのではと大きな懸念を感じている。</p>
83	<p>オンラインのための回線が安定しておらず、画像が固まるなどの不具合があった。また、小学生にとってはリモートによる学習は発達段階から考えても効果的とは言えない。</p>
84	<p>家庭環境に著しく差異があり、短期間で全市一斉に実施することは困難である。</p>
85	<p>・通信環境が十分でなく、各区への割当時間が1週間に40分の割当時間のなか、校内でもさらに学年の割当をした。そもそも、学習を進められる配当時間ではない。・学習では、教科書やノートだけでなく、多くの道具を活用して授業を進める。1対多数の動画を伴った通信が可能になっただけ、教師が児童に教える学習が進められるわけではない。オンライン上で活用できるコンテンツを増やし、それがタイムラグなく動くスペックが必要である。・とりわけ、低学年は、体験的に学習が進められるため、オンラインでの学習にはそもそも課題が多いと思う。</p>
86	<p>報道発表により、保護者や市民はいつでもオンライン学習ができるようなイメージを持っていた。そのイメージと現場の実態との乖離が大きかった。結果、保護者や市民の不審感を高める事になった。オンライン学習で使用するソフト「teams」は大人向けに開発されており、大人でも慣れるのは時間がかかる。漢字やアルファベットもよくわからない小学生が使用するにはかなり無理がある。</p>
87	<p>教職員の子ども双方の、オンライン学習に対する慣れと理解を深めることが必要。オンライン学習を行うことが、従来教室で行ってきた学習に代えることは現時点では不可能だと思う。まだまだ丁寧に、時間をかけて取り組むことが大切だと思います。</p>
88	<p>学校現場に、多くの混乱をもたらした。学校間で対応に違いが生じて、その判断をした校長間に、相互不信を、生じたさせた。大阪市と、その他の地域で、学習時間の差が生まれ、その結果チャレンジテストに、不公平感が生まれいる。行政に、擦り寄る教育委員会の在り方により、教育の中立性が、失われつつある。</p>

89	<p>大阪市は昔から「安し悪し」の調達をしてきた。今回もお金をケチってGoogle Meetにブレイクアウトセッションができない仕様になっているため、新学習指導要領に則ったオンライン学習が不可能な状態である。せっかく一人一台端末を配備したのに、肝心な部分を外してしまっている。大阪市にはICTに長けた教員がたくさんいる。先頭を走る教員の基準に合わせて仕様を書いていただけるようお願いする次第です。</p>
90	<p>Wi-Fi環境が現校舎では整えたが、新校舎では不十分であり今回できたリモート授業も新校舎では困難。</p>
91	<p>昨年度までに準備ができておらず、突然の発表に驚きましたが、何とか対応しました。しかし、通信の割り当て時間が少なく実用性は低く、学校ごとに使用頻度や活用方法もバラバラで格差や不信をうむ結果となったのではないかと思います。</p>
92	<p>形だけのオンライン学習を授業の1コマと扱うのは時期尚早と思う</p>
93	<p>市長の報道発表が先行し、教育委員会が後追いする行政組織では現場はもたないし、教育行政は破綻する。現場の現状を踏まえた教育政策を切望する。この間の対応には、組織への不信感が募るばかりである。現場は児童・生徒の学力保障と進路保障と豊かな学校生活の為には使命感を持って対応するのは当たり前だが、行政もそうであって欲しいと切に願う。</p>
94	<p>オンライン学習実施に向けた教員のスキル不足。不十分なICT環境。オンライン学習は、今後必要であることは、確かである。効果的な学習形態を確立していく必要がある。しかし、今回の指示は、あまりにも拙速であったと言わざるを得ない。</p>
95	<p>教員及び児童のスキルの向上</p>
96	<p>オンラインでは生徒の表情が見えず、どの程度理解できているかの把握が難しいです。</p>
97	<p>通信回線の整備を望む。</p>
98	<p>まず、決定が急すぎて、学校側の準備ができなかった。教員がオンライン学習に対するスキルを身に着ける時間もなかった。一番の問題は、通信環境がオンライン学習を行うのに耐えられる状態でない。（現在でも）通信環境の整備、機器の設定やメンテナンスを専門に行う人材の配置が必要である。少し詳しい教員が授業の合間に何とかしようとしている現状では、まともな双方向の授業など実施できない。（まだそのような教員がいる学校はまし。）1校に1名、せめて複数校に1名PCの整備やメンテナンス、オンライン授業の実施をサポートする専門の人材の配置が必要。また、今後は教員に対してオンラインでの授業の実施方法等の研修も行っていく必要がある。環境や機器がきちんと整備され、教員側も機器の使用法に慣れていけば、オンライン授業のメリットは大きいものがあるので、進めていく方向としては正しいと考えるが、とにかく、本当の現状を理解せず、いきなり、丸投げ、現場任せ、はやめて欲しい。</p>
99	<p>唐突な通知や環境整備への不満は飲み込んで、教員のスキルアップの機会、および生徒の新たな学び方と割り切って最大限工夫した。</p>
100	<p>弊校は児童自立支援施設併設校であり、今回の家庭と教室を繋ぐといった部分では該当せず、施設内の場所や教室で直接教員による指導が出来るため、現時点でオンライン学習は行っていません。しかし、教室ではタブレットを使ったICT教育も数多く行っており、1人一台端末の恩恵はありと考えております。</p>

101	学校側のネット環境や家庭の環境に課題があり、オンライン授業を効果的に実施することは難しい。デジタル教材や学習コンテンツ等を使って、オンライン家庭学習をすることは可能であり、効果的だと思います。
102	小学生へのオンライン授業は、そもそも無理があると思います。
103	十分な通信環境の整備が先である。
104	通信環境を、整えて欲しい。
105	<p>オンライン学習の指示について非常事態なので市長に臨時休業の指示の権限があると聞いたのですが、教育内容についての指示はどこまで可能なのでしょうか？オンライン学習を指示する権限は教育委員会にあるのでしょうか。教育内容について、市長は、事前に教育委員会と相談をしたのでしょうか？大阪市の学校のICT環境の現状を把握している部署との事前打ち合わせはなかったのでしょうか？市長はアイデアをマスコミに発表する前に、教育委員会と打ち合わせをしてほしかったと思いますし、発表後も、具体策については教育委員会がもっとしっかり現場の実態に応じた内容にしてから学校現場に指示を出すべきだったと思います。大阪市の学校のネット環境の容量は全児童が同時に使えるほどのものではないということは分かっていたはずなのに、市長の最初の発言がその後も修正されなかったのは、おかしいと感じます。（例えば「この前は、いい考えだと思って、オンライン授業を実施すると言ったが、一斉には使えないネット環境だと分かったので・・・」などとマスコミに再発信するのは可能だったと思うのですが）登校時刻について学校での滞在時間を短縮する必要があるのならば、登校時の安全や生活リズムの維持、各家庭の負担軽減を考えて、朝、通常通りの時刻に登校し、午前中授業をし、給食後に下校、という流れが良かったと思います。どうして、あのような登校時刻（幼稚園は朝から、小学校は午前の途中から、中学校は給食前）になったのでしょうか？だれが決めたのでしょうか？学校での学習内容について教育委員会から、登校後、学校での授業内容について、教科学習をしてはいけない（オンライン学習の準備や家庭学習の答え合わせや指示等に使う）との指示があり、オンライン授業がメインだという印象が強かったが、市長は、オンライン授業と対面授業の両立、的なことをおっしゃっていたが、現場は対面授業はしてはいけないという指示を受けていたのです。学校現場の実態が市長に届いていないということの証拠だと思いますが、教育委員会から市長へ報告は行ってないのでしょうか？いずれにしても、教育については、市長は事前に教育委員会と相談して、よく考えて発言してほしいです。教育委員会は、現状に応じた案を市長にしっかりと伝えてほしいですし、市長も現場の声を聞いてほしいです。</p>
106	通信環境により止まる場合があること。そのフォローアップのための課題等の準備の負担。体験学習、学級活動他による集団育成。
107	ICT活用は今後必須となるので、通信環境をさらに改善してもらいたい
108	小学生にオンラインでどれだけ成果が出るのか疑問です。まず、全員が必ず繋がるということが大前提です。そして、繋がらなかった時の授業補償を考える必要があります。
109	準備不足と時期尚早など

110	一人一台のパソコンが配布された時期が学校によって違い(最大半年の違い)があったため、児童が操作に慣れる時間がなかった。オンライン接続は、子ども(低、中学年)一人では無理、保護者がいない、パソコン操作が不得手な保護者だと繋がらないなど混乱が起こった。一人の指導者では、オンライン授業はできない。一斉授業で学習内容がわからない児童にとっては、オンライン授業は一層わかりにくい。個にあった細かい指導はできない。指導者の授業の準備時間が足りなかった。
111	自由に好きな時間にオンライン学習ができないこと。
112	準備不足は否めない状況だった一時的カンフル剤として政治主導での判断には学校現場は応える最大限の努力は行いました
113	小学校、特に低学年の児童が家庭で一人でオンラインで学習することはかなり困難であると思われる。通信環境の関係で、週2~3時間程度のオンライン学習なら、効果もほとんどないと考えられる。
114	オンライン専任の人の配置が必要 進まない
115	オンライン学習を行うには、まずは環境整備が第一である。
116	小学校の段階ではモニターを通じた学びにはそぐわないと思う集中力など個々の能力差が大きく出る